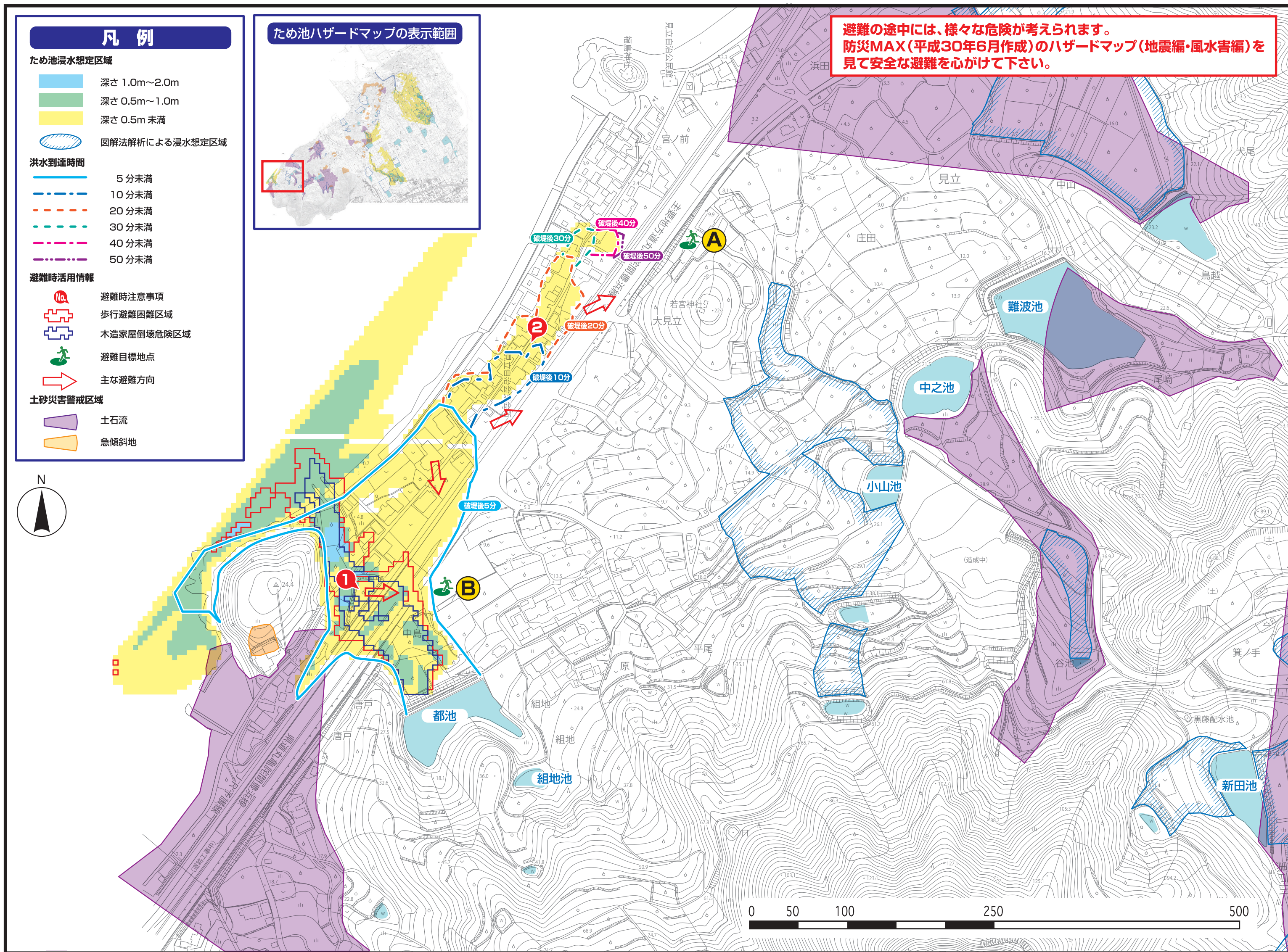




各地点の現況



ため池決壊で避難が必要な住民は、避難訓練し避難のタイミングを守ることによって安全な避難が可能です。

率先避難が必要な地区の洪水が到達する時間・洪水の速さと深さの変化

番号	各地点の避難時注意事項	木造家屋倒壊危険区域	歩行避難困難区域	5分後	10分後	20分後	30分後	1時間後
①	都池が破堤すると、一気に水深が深く、流速も速くなります。建物が倒壊する可能性がある範囲が広く分布しており、地震直後に、避難目標地点(県道丸亀詫間豊浜線南空地)に避難してください。	●	●			木造家屋倒壊危険区域	歩行避難困難区域	
②	都池が破堤すると、10分程度で浸水します。避難目標地点(大見立若宮神社北県道南)などに避難してください。逃げ遅れた場合は無理をせず家の2階等に上がってください。	●	●					

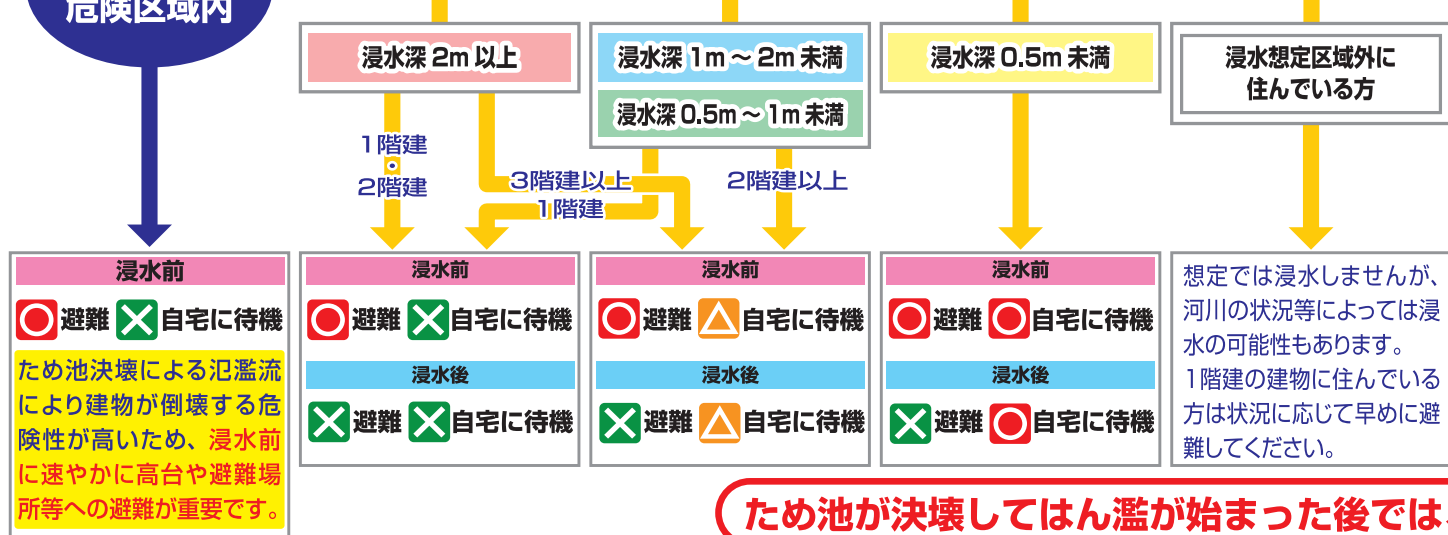
避難のタイミング

最初の激しい揺れは約3分程度

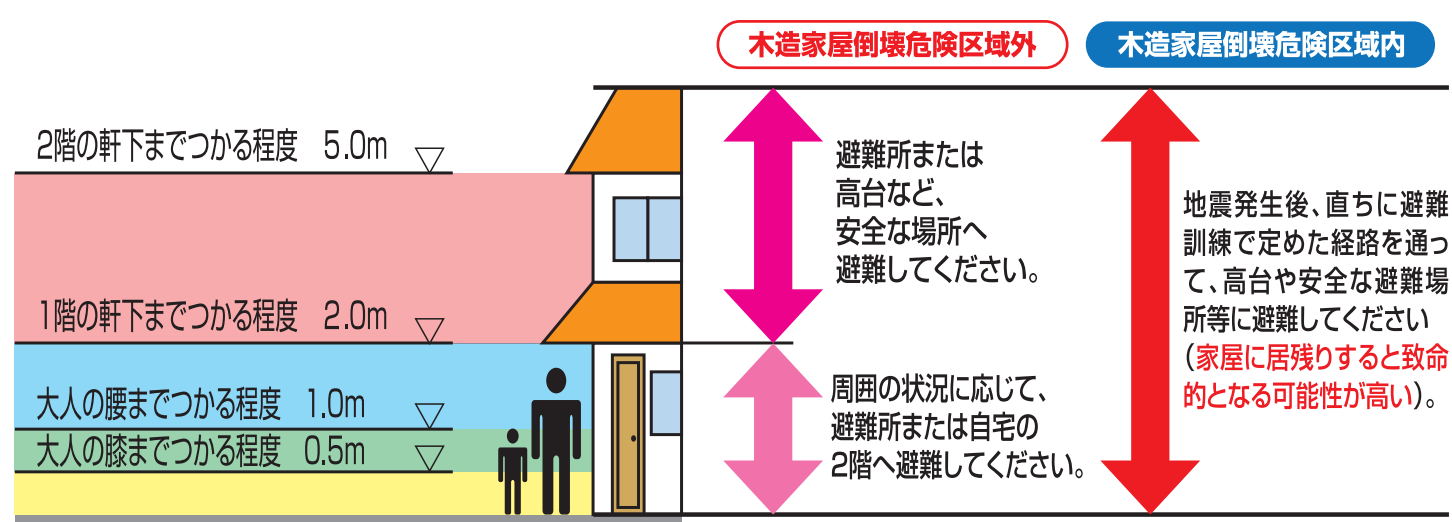
①まず、身を守る ②すばやく火の始末 ③非常脱出口の確保

強い揺れを感じた場合には、ため池決壊の恐れがありますので自主的に避難してください。

木造家屋倒壊危険区域内



木造家屋の被害程度と避難の目安



地震時直ちに高所へ避難する必要がある地域(要避難地区)

地震時直ちに高所へ避難する必要がある地域(要避難地区)は、「木造家屋倒壊危険区域」とその外側にある「歩行避難困難区域」です。

ため池が決壊してはん濫が始まった後では、避難することがかえって危険な場合があります。状況に応じた行動をとることが必要です。